

まちの話題

太陽光発電システム始動 千代田文化会館で稼働式

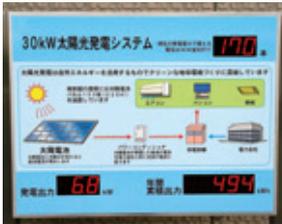
「環境にやさしく住みやすいまちづくり」を進めている神埼市では、千代田文化会館・千代田町保健センターと本庁南新館への太陽光発電システムの取り付けを終え、2月5日、千代田文化会館「はんぎーホール」で稼働式を行いました。



稼働式では、市長が「地球温暖化防止という世界的目標に沿って、新エネルギー導入を推進するため、公共施設に取り付けた。今回の設置で神埼市地球温暖化対策実行計画に掲げるCO₂の削減目標値6%（平成18年度比）に対し3.3%、56トン削減することとなる。」とあいさつ。市長らがスイッチを押し、太陽光発電が始まりました。文化会館には太陽光電池パネル600枚が取り付けられ、年間電気削減見込みは11万7千キロワット。文化会館電気使用量の約50%に相当します。また、南新館はパネル150枚で、電気削減は2万8千キロワットの見込み。本庁南新館年間使用量の約9%に相当します。

総事業費は約9千580万円の補助金などを活用して設置しました。

文化会館や南新館入口にはシステムの表示板が取り付けられ、「現在の発電電力」システムの仕組みなどを分かりやすく表示しています。



行政事務から暴力団排除を

神埼市と神埼警察署は、公平・公正な市政運営を行うため、市が行う契約など行政事務から暴力団を排除する合意書を1月27日に締結しました。



合意書では、工事や市営住宅入居など市が行う契約にあたり、相手が暴力団であるかどうかについて、警察が調査や通知をすること、排除措置をとった場合に起きる妨害やトラブルを防ぐため警察が協力や支援を行うことなどが明記されています。

調印にあたり、「みやき町の（暴追運動の）例などもあり、警察に協力をいただけることは心強い」と市長がいさつ。吉岡初彦署長も「暴力団を行政事務から排除するための支援、協力を惜しまない」と決意を示しました。

市民学芸員に6人認定 「神埼塾」修了式

市内の歴史、文化遺産を学び、市民学芸員を育てる「神埼塾」の修了式が2月6日にあり、受講生56人に学芸員の認定証が渡されました。

神埼塾は昨年9月5日を皮切りに延べ8回、32時間にわたって開かれました。103人もの市民が入塾し、旧石器・縄文時代から近世に至る市内の歴史、民話や動植物まで、専門家を講師に招いて勉強しました。

6回以上受講した人たちには、学芸員としての認定証が手渡され、歴史・文化遺産を活かした

まちづくりを進めるため、市発展の推進役として活躍されることが期待されます。

2月14日には一日がかりで現地学習会、3月末までに市内の歴史探訪・観光マップを新たな視点で作成、来年度は自分たちでテーマを

選んで勉強会を重ね、徐々に現場でできるようトレーニングしていきま



2組が家族経営協定を締結

農業経営の発展と、明るい家庭生活を築くため、家族が対等の立場で農業の経営について話し合い、就農条件などの取り決めを行う家族経営協定の調印式が2月2日、神埼市役所で行われました。

協定を結ばれたのは、千代田町の垣永操さん・順一さん親子と、井田克己さん・将也さん親子の2組です。

これで市全体の協定数は、120世帯となりました。



晴天の弥生路を疾走!

1月24日、第16回吉野ヶ里口・ドレース in 神崎市(神崎市体育協会・佐賀新聞社主催)が吉野ヶ里歴史公園で行われました。

市内外から約1,350人が参加し、暖かい日差しに包まれた弥生の風景を眺めながら走る選手の皆さんに、多くの声援が飛び交っていました。



今大会は、特別ゲストに志水見千子さん(アトランタ・シドニーオリンピック女子5000m日本代表)を迎え、大会を盛り上げていただきました。



各種目の優勝者、特別賞の受賞者は、次のとおりです。

(敬称略)

- 4 km (男子) の部
中島 哲(鳥栖工業高校)
- 4 km (女子) の部
板木 望(鳥栖高校)
- 10 km (男子) の部
平 敏治(戸上電機製作所)
- 10 km (女子) の部
日高 幸枝(eA福岡)
- 遠来賞
橋本 健一郎(埼玉県新座市)
- 最高齢者賞
音成 市次(78歳、神埼町)

満員の聴衆を魅了



サイエンスキャラバン聴衆

大学の研究者が最新の研究成果を地域住民に紹介する「SAGAサイエンスキャラバン2010 in 神崎市」が、1月20日に神崎市役所で行われ、九州大学の2人が講演、約80人が参加しました。



宝くじ文化公演「宗次郎オカリナ・コンサート」が1月23日に千代田文化会館「はんぎーホール」で開かれ、満員の聴衆を魅了しました。

宗次郎コンサートが神崎市で開かれるのは、吉野ヶ里フェスタ以来19年ぶり。森や水、大地をイメージしたオリジナル曲や「ふるさと」などなじみ深いメロディーを次々と披露。心に染み入るような透明感のあるオカリナの音色に、会場から感動の拍手が送られていました。

濱田耕策教授(朝鮮史)は百濟から漢字と儒学を伝えたことされる王仁博士をまつる王仁神社や有明海を通じた半島との交流について話しました。

新開章司助教(農業経済学)は植物工場の技術やコストがすでに実用段階に入っていることを紹介しました。

この日は吉野成美さん(神埼中3年生)の原画を車体にデザインした電気自動車(県の公用車)も市役所前で紹介されました。



楽しく交通安全学が

入学シーズンを前に、幼児交通安全フェスティバルが2月2日に神崎市中央公民館で開かれ、市内の幼稚園・保育園から小学校に今春入学をする園児約300人が参加しました。

フェスティバルにはアニメの人気キャラクターも登場。一緒に信号機の確認や横断歩道の渡り方などを学びました。



また、会場の外に並んだ白バイやパトカーにも乗せてもらい、園児たちは大喜びでした。

このほか、交通ルールの大切さを伝える映画の上映や警察音楽隊の演奏もありました。



「目標へ努力」誓い合う

千代田中学校では2月4日、立志式が行われ、2年生114人が、将来の夢実現に向け、決意を新たにしていました。

手塚秀司校長が「今日を目標達成の出发点として頑張つて」と祝辞。2年生のクラス代表3人が「自覚と責任を持って中学生を送りたい」「努力を重ね、大きな夢を実現したい」などと決意を述べました。

式には保護者や来賓、3年生も列席し、2年生を祝福していました。



児童が手作り野菜販売

千代田中部小学校5年生の児童41人が1月21日、千代田町内のショッピングセンターで手作り野菜を販売しました。

子どもたちは商品の陳列の仕方や宣伝のコツも勉強。客寄せののぼり旗や料理のレシピも準備するほどの熱の入れよう。

小学生のかわいい呼び込みにつられてお客さんが次々に訪れ、子どもたちが種まきから水やり、草取りなどをして育てた大根145本をはじめ、ホウレンソウ、白菜などの野菜は約30分で完売しました。



同日、神埼中学校で、10日には脊振中学校でも立志式が行われました。

成長を願って記念植樹

1月26日、神埼双葉園と神埼幼稚園で、「神埼ライオンズクラブふるさと緑化事業」として、記念植樹が行われました。

当日は、ライオンズクラブメンバー、園児、保護者などが参加。神埼双葉園には、キンモクセイ・サルスベリ・キンカン、神埼幼稚園には、クヌギ・シラカシなどが贈られ、大きく成長してくれることを願って植樹を行いました。園児たちは「大きな木になるように、みんなで大切に育てます」とお礼の言葉を伝えました。



また、植樹後には、みんなでバルーンリリースを行いました。バルーンが園児の手から一斉に放たれ、大空へ舞い上がると、会場は園児たちの元気な歓声に包まれていました。

餅つきで楽しく交流

1月9日、下村湖人生家広場で「第3回Youthちよだ次郎餅つき会」が開かれ、子どもや保護者、会のメンバーなど約50人が楽しく交流しました。初めて餅つきをする子どもも会員のアドバイスを受けながら元気にきねを振りました。



参加した子どもたちは「おなかいっぱい食べた」「来年も来たい」などと、楽しそうに話していました。また、保護者からも「昔ながらの餅つきは、子どもにもいい体験でした」との感想が聞かれました。

多彩な趣味の作品展示

老人クラブの会員による趣味の作品展が、2月3日から5日まで神埼市中央公民館で開かれました。



神埼市老人クラブ連合会神埼支部の主催で、108人が合わせて303点を出品。絵画、写真、書、手芸、陶芸などの作品のほか、珍しい蝶のコレクションもありました。

出品者の最高齢は92歳の山口ティさん。会場には季節にふさわしく、ひな飾りなどの人形も展示され、華やかさを添えていました。

また、3日には囲碁、将棋大会も行われ、盤上に熱戦が繰り広げられました。



防火看板引き渡し

千代田東部小児童が制作

千代田東部小学校の6年生児童が制作した防火看板の引き渡し式が2月9日に行われました。防火看板は「春の火災予防運動」を控え、神埼地区消防本部が制作を依頼していたもので、制作を希望した児童8人が昼休み時間を利用して約2週間かけて描き上げました。



看板は縦1・8メートル、横2・7メートル。代表して植香菜子さんが「校区内の文化財・下村湖人家を中心に据え、周りに火事の原因になる絵を描いて、防火を呼びかけました」と制作の狙いを説明。森重喜消防長が感謝状を渡し、「消防本部前の国道沿いに掲示し、防火意識の高揚に役立てたい」と謝辞を述べました。

無病息災、五穀豊穡を祈る

神埼町の横武地区に伝わる伝

統行事「百手祭り」が、1月24日に乙竜神社で行われました。1年間の無病息災、五穀豊穡を祈る行事で、神事を行った後、地区の人たちが交代しながら、大的、紙的、菱的の3つの的に向けて、竹で作った矢を放ちました。

大的に当たると「今年が良いことがある」、紙的に当たると「家族の運が良い」、菱的に当

「姉の七福神」

地区内回りの幸福祈る

千代田町姉地区に伝わる「姉の七福神」が2月7日にあり、神々が地区内の約80軒を回り、五穀豊穡、家内安全を祈りました。



たると「豊作」になると伝えられていて、的に矢が命中するとみんなから歓声や拍手が沸いていました。



永年の功績をたたえ

高齢者叙勲

○旭日単光章

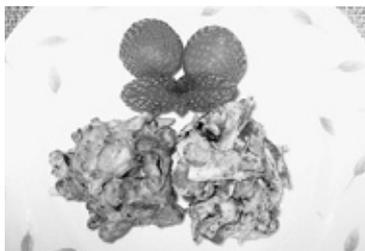


小柳政敏さん(脊振町) 元脊振村議

給食メニューが大賞

佐賀中部保健福祉事務所管内の保育所給食担当者による、施設で評判の一品メニューコンクールで、神埼市の公立保育園(ちよだ、西郷、仁比山保育園)の「大豆のかき揚げ」が大賞を受賞しました。

園の給食でも人気メニューとなっていて、園児たちも喜んで食べています。これからも、園児の喜ぶおいしい給食を提供していきます。



県の広報コンクールで入賞

平成21年1月から12月の間に発行された広報紙などを対象に県の市町広報コンクールが行われ、「市報かんざき」に掲載した写真と地区紹介コーナーが「佳作」になりました。

バックナンバーについては、市のホームページからご覧いただけます。



○広報企画の部
「地区紹介」
平成20年4月号から平成21年7月号まで掲載



青少年だより／神崎市青少年育成市民会議

力強い主張に感動！

第4回青少年主張大会

2月13日、『第4回神崎市青少年主張大会』（神崎市青少年育成市民会議主催、神崎ロータリークラブ共催）を神崎市中央公民館で開催しました。

児童・生徒を含めて500人を超える参観者に足を運んでいただき、大盛会の主張大会となりました。

○応募者数

応募者数は、市内の各小学校の5、6年生、各中学校の1、2年生、神崎高校の1、2年生、神崎清明高校の1、2年生、西九州大学生の代表、新成人の代表の合計1,640人です。



テーマは、家族、私の夢、いじめ、友だち、ボランティア活動、食の安全、戦争と平和、環境問題など多様。自分の周囲のことや社会問題に目を向けて深く考え、自分なりの意見を強く訴え、共に、前向きに積極的に取り組む決意を表したしつかりした内容の主張が多く寄せられました。

○司会・進行

司会は、神崎清明高校2年生の木原朋美さんと原口京子さん。さすがに放送部員、美しく歯切れのいい声で臨機応変の対応をしながら、名司会ぶりを発揮し、主張大会を盛り上げるため、スムーズに進行してくれました。

○青少年の主張

青少年の主張では、市内小・中学生、神崎高校生、神崎清明高校生、西九州大学生、新成人の代表者の14人が、それぞれに心のこもった力強い主張をしました。

青少年の堂々とした発表に、参観者からは賞賛の言葉が聞かれました。発表者は、次のとおりです。

氏名	学年	学校名	主張題目
山本 大誠	6年	西郷小学校	家族を大切にしてくれる父
川浪 夕佳	6年	仁比山小学校	平和な世の中に
石丸 千博	6年	神崎小学校	安心して囲める食卓を
松尾 拓海	6年	千代田中部小学校	戦争を起こさないために...
末次 幸奈	6年	千代田西部小学校	いじめをなくす第一歩
佐藤 なつき	6年	千代田東部小学校	次郎のように強く、優しく
弥富 龍之	6年	脊振小学校	ぼくの夢
綾部 裕里子	2年	神崎中学校	それが大事
成富 冬美	1年	千代田中学校	今の自分を見つめて
森田 勇矢	2年	脊振中学校	美しいふるさとのために
山口 優美	2年	神崎高校	言葉がつなぐ輪
桑原 未果	1年	神崎清明高校	命の重さ ～みんなが幸せに生きられる社会へ～
大田 黒亜麻	1年	西九州大学	ソーシャルワークについて
亀川 勇樹	代表	新成人	「二十歳を迎えて」

○特別出演

特別出演として、千代田西部小学校のマーチングバンドが素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

全国大会で銀賞を受賞されただけに、「ドレミの歌」踊り明かそう、「崖の上のポニョ」などを見事に演奏され、会場から大きな拍手が贈られました。

大会開催にあたっては、市の区長会、自治公民館連絡協議会、PTA連絡協議会、子どもクラブ連絡協議会、地域婦人連絡協議会、神崎地区の保護司会、少年補導員連絡協議会の各団体の後援、地区役員の方々や市民の皆さまのご協力をいただきました。ありがとうございました。

有料広告



4月上旬 (予定) グランドオープン

有料広告

地域のみなさまの笑顔と共に...



パースはイメージです。



モリナガ

株式会社
スーパーモリナガ
<http://www.super-morinaga.co.jp/>

吉野ヶ里店

●営業時間／午前9時30分～午後10時
お問い合わせは
スーパーモリナガ本部まで
TEL0952-34-7121

◆◆◆図書館からのお知らせ◆◆◆

ホームページ(<http://library.city.kanzaki.saga.jp/>)

図書館のおはなし会

- と き 3月27日(土)
14:00 ~ 14:30
- ところ 神崎市中央公民館
2階 和室
- 対 象 幼児から小学生



名称	開館時間	休館日	問い合わせ先
神崎市立図書館	9:00 ~ 18:00	火曜日、祝日	神崎市立図書館 ☎53-2325
神崎市立図書館 千代田分館		土、日曜日、祝日	千代田分館 ☎44-2731
神崎市立図書館 脊振分館		日曜日、祝日	脊振分館 ☎59-2048

○自主サークルのおはなし会

サークル名	と き	ところ	問い合わせ先
おはなしケムケム	3月8日(月) 10:20 ~ 10:50	神崎市立図書館 千代田分館	佐藤 ☎44-2925
きらきら	3月10日(水) 10:30 ~ 11:00	神崎市中央公民館 2階 和室	開 ☎090-7534-0310
マザーグース	3月27日(土) 14:00 ~ 14:30		石橋 ☎090-1197-8642

○読書会

と き	グループ名	書名	著者名	ところ	問い合わせ先
3月	2日(火) 9:30 ~ 11:30	山王会 慈雨	安岡章太郎	城原公民館	東島 ☎53-1047
	12日(金)	若菜会 血脈の火・流転の海 第3部	宮本輝	J A 西郷支所	境 ☎52-9934
	17日(水) 13:30 ~ 15:30	よしのこ会 ゲゲゲの女房	武良布枝	千代田町 福祉センター	古賀 ☎44-2849
	19日(金) 9:30 ~ 11:30	新樹会 流転の海 第1部	宮本輝	神崎市 中央公民館	杉山 ☎53-4664

ほんとお勧めの本

『おとこの老後』
米山 公啓 著
集英社

定年後こそ自分の人生です。
心と体の健康づくりの方法とは…



『いにちゃんのランドセル』
城島 充 著
講談社

ランドセルには、家族の悲しい記憶
とあたたかな物語がつまっています。



行事予定表

日 曜	催物	開演	入場方法	主 催
3/6 土	講演会「姉川城跡」の将来像	13:00	無料	神崎市教育委員会 ☎44-2296
3/7 日	歌謡ホールS2000歌謡祭	9:30	要申込	歌謡ホールS2000 斉藤 ☎55-9321
3/14 日	第6回 舞踊の祭典 弥生の会	10:00	1,000円	弥生の会 福島 ☎53-4557
3/27 土	ピアノ発表会	13:30	無料	水田 ☎090-3661-0112
3/28 日	ららはびねす こんさーと	10:00	無料	安西 ☎29-6732

*問い合わせは、主催者へお願いします。

◎問い合わせ先 千代田文化会館「はんぎーホール」 ☎44-2051 休館日 月曜日

千代田文化会館
はんぎーホール

有料広告

有料広告

みて ふれて たべて …… 吉野ヶ里 夢ロマン軽トラ市

(3月7日より毎月第1日曜日 8:00~11:30 開催)

○開催場所 : JR 吉野ヶ里公園駅北口の町道
(問い合わせ先) 吉野ヶ里商工会 ☎52-4644